

(公財)神奈川県公園協会 設立40周年記念

神奈川県公園協会賞 受賞活動の紹介





ごあいさつ

私たち公益財団法人神奈川県公園協会は、昭和50年の設立以来、「県民の健康・福祉の増進と県土のみどり・環境の保全と創造を図り、地域社会の健全な発展に寄与すること」を目的とした公益法人として、様々な事業を実施してまいりました。

この度、平成27年3月に設立40周年を迎えるに当たり、その記念として「**神奈川県公園協会賞**」を設け、当協会が進めている公益的事業に関連する分野において、地域への貢献度が高く優れた活動を表彰することにより、県民活動を支援することといたしました。

実施に当たりましては、個人・団体の皆様から応募3部門合わせて、32点の個性あふれる県民活動についてご応募いただき、非常に多様な活動とその熱意を実感しております。誠にありがとうございました。

ここでは、受賞者18点（優秀賞8点・奨励賞10点）について、受賞者の皆様方の活動概要をご紹介します。

平成27年1月

公益財団法人 神奈川県公園協会

調査・研究部門
優秀賞

日本大学境川遊水地調査会 (日本大学 造園緑地学研究室)

- 代表者／関口 あゆ美
- 応募タイトル／学生ボランティアによる境川遊水地公園での自然環境・生き物調査
- 主な活動場所／県立境川遊水地公園

●活動概要

境川遊水地公園にある水辺と草地のビオトープにおいて、園内生態系の保全管理に資するため、植物・昆虫・鳥類・魚類・哺乳類・水生生物を対象として調査している。平成17年から植物は植物相調査、昆虫はスウィーピング法、鳥類はルートセンサス法などの方法をとっている。結果、植物は78科506種、昆虫29科101種、鳥類31科76種などが確認された。成果として、日本緑化工学会誌37巻「都市域の遊水池公園における直翅目の生息状況と人的管理の影響」など、学会誌発表6編（平成18～23年）等に発表している。

●受賞理由

学生ボランティアとしての調査研究ながら、調査結果は学会誌でも広く公表されると共に公園管理にも活用されており、充実した内容となっています。さらに、遊水地内に生息生育する動植物について、多角的、総合的に調査がなされ、都市河川の整備、及びその周辺に整備されるビオトープとの関係を検証するのに役立つ調査でもあり、非常に高い評価を受けました。



生物同定のコツを先輩から後輩へレクチャー



公園内の野鳥調査

調査・研究部門
優秀賞

津久井城山のリスとムササビを守る会

- 代表者／朝比奈 邦路
- 応募タイトル／津久井湖城山公園におけるムササビ等の生息状況調査
- 主な活動場所／県立津久井湖城山公園

●活動概要

平成19年より津久井湖城山公園において、ムササビの生態調査の他、希少動物等の生息状況調査を実施している。調査内容としては、自然巣穴、人工巣箱の利用状況、園内の繁殖状況や食性調査などを行っている。調査の結果、個体数変動が無いこと、片目で生活する個体がいることなどが分かった。

成果として、リス・ムササビネットワーク会報「リスとムササビ」に、「隻目で1年以上生存するムササビ」（平成23年）を発表している。

●受賞理由

可愛らしさから人気のムササビに特化し、様々な視点、手法による調査を試みている上、応募者が楽しみながら活動を行っていることが伺える応募内容でした。また、調査結果をイベント等で公開し、豊かな自然を残す津久井湖城山公園の魅力アップにもつながっており、社会的貢献という点でも非常に高い評価を受けました。



ムササビ



ムササビ観察会

調査・研究部門 奨励賞

東京農業大学 地域環境科学部 造園科学科 ランドスケープエコロジー研究室

- 代表者／教授 鈴木 貢次郎
- 応募タイトル／川崎市早野梅ヶ谷特別緑地保全地区における里山保全
- 主な活動場所／川崎市麻生区 早野梅ヶ谷特別緑地保全地区

●活動概要

川崎市の早野梅ヶ谷特別緑地保全地区の放置された薪炭林において、平成22年から薪炭林を維持する「刈取り区」と「対照区」を設定し、植生の状況変化を調査している。研究の結果、刈取り区ではエゴノキやハンノキが枯死する一方、タマノカンアオイやキンラン等が増加したことが確認されている。

成果として、「日中韓国際ランドスケープ専門家会議」（平成22年）、「多摩・三浦丘陵の水と緑をつなぐ参加型シンポジウム」（平成25年）で報告を行っている。

●受賞理由

里山保全活動が各地で行われている中で、放置された薪炭林をどのような管理をしていけば良いのか、そのヒントとなる調査研究で、専門の見地からのアプローチがなされています。さらに、川崎市との協働事業として今後への期待が伺えるとともに、成果が近隣の学生への普及啓発に活かされていることも高い評価を受けました。



調査地での作業



近隣の小学生への体験学習

都市緑化・自然環境保全に関わる活動部門 優秀賞

特定非営利活動法人 ゆい

- 代表者／理事長 荒井 三七雄
- 応募タイトル／湘南海岸 砂草の100人里親プロジェクト
- 主な活動場所／湘南海岸

●活動概要

平成16年より、湘南海岸の海浜植物の調査、発芽・増殖試験等を複数の大学研究室と共同で行い、特に、ハマボウフウは独自の発芽育苗手法により育成を行っている。また、茅ヶ崎市の施策にも則した形で、市民参加型により苗の海岸への移植活動を行ってきた。

活動の成果として、講座や観察会を実施し普及啓発を実施している。

●受賞理由

神奈川県の特徴の1つでもある海岸を活動の場としており、発芽から育苗、植栽までの一連の活動を行っているのは重要なポイントです。さらに、大学や行政との連携、苗の里親など市民参加を取り入れているとともに、全国の類似団体との交流も行う等ネットワークの広さも持つことから、非常に高い評価を受けました。



海浜植物の移植会



浜辺フォーラムin湘南（旧南湖院にて）

都市緑化・自然環境保全に関わる活動部門
優秀賞

高津区市民健康の森を育てる会

- 代表者／会長 徳武 道雄
- 応募タイトル／川崎市高津区の緑の保全に向け「ゆっくり・みんなで・たのしみながら」をモットーに、市民が活動した12年
- 主な活動場所／川崎市高津区 春日台公園・ホタルの里

●活動概要

平成14年より川崎市高津区の市民健康の森において、緑の保全や健康とレクリエーションの場づくり等を目的に、竹林の手入れと竹炭づくり、ホタルの飼育と発生水路の手入れ、サツマイモの植え付けや収穫の体験教室などを行っている。また、市のイベントにも積極的に参加している。

●受賞理由

竹林の整備や、ホタルの保護、サツマイモの栽培など幅広い活動を、子供から大人まで多数の地域の方々に参加してもらいながら継続し、地域に貢献してきたことが非常に高い評価を受けました。また、生産した竹炭を水の浄化に利用し、市内の水系の浄化に利用するなど、地域環境の保全への貢献度も高い活動といえます。



大人の炭焼き教室



芋ほり体験

都市緑化・自然環境保全に関わる活動部門
優秀賞

川名里山レンジャー隊

- 代表者／隊長 河野 明斗
- 応募タイトル／川名清水谷戸の保全活動と環境教育の実施
- 主な活動場所／藤沢市 川名緑地（川名清水谷戸）

●活動概要

平成4年より藤沢市南部に残る谷戸「川名緑地」内において、畑を耕作したり、ビオトープの整備や管理、及びそれらを活用した自然体験や環境プログラムの提供を地域へ行っている。特に、地域の学校の自然観察授業を16年間継続している。

●受賞理由

団体のメンバーは大半が大学生で、学生が卒業して代替わりする中でも充実した保全活動を20年以上継続している貴重な活動です。さらに、家族を参加対象とした活動を行っていること、畑で育てた野菜の販売利益を藤沢市のみどり基金に寄付するなど地域と密着した活動でもあり、非常に高い評価を受けました。



川名清水谷戸での農作業



谷戸でのお昼は、薪で炊いたご飯と豚汁

都市緑化・自然環境保全に関する活動部門
優秀賞

花を咲かそうボランティアの会

- 代表者/会長 野島 誠一郎
- 応募タイトル/市民が創る緑豊かなふるさとの水辺の風景
～水仙花壇とニュースポーツ広場～
- 主な活動場所/相模川の座架依橋下の河川敷「座間市水と緑の風広場」

●活動概要

平成22年より雑草の生い茂った相模川河川敷を開墾、今年度までに計2,400㎡を開墾し、水仙とマリーゴールドを中心とした花壇づくりを進めて有効活用を図っている。また、地域のスポーツ関係団体とも協働して18ホールのパークゴルフ場の整備を進めている。

●受賞理由

河川敷という通常では利用が難しい空間を市民の手で活用し、花壇づくりを進めるとともに、活動の成果を市のイベントに参加して紹介するなど、地道な活動を継続し市内の新たな花の名所になるまでに至った活動が非常に高く評価されました。さらに新たな取組みとして、「ラッパ水仙花壇」や市内初のパークゴルフ場の整備にも取り組み中で、今後の活動にも期待が持てる点も評価されました。



菜の花と水仙



マリーゴールドの管理

都市緑化・自然環境保全に関する活動部門
優秀賞

おおいそオープンガーデンホーム運営委員会

- 代表者/会長 永島 進
- 応募タイトル/大磯町のオープンガーデンホームが
お庭を公開します おおいそオープンガーデン
- 主な活動場所/大磯町全域のオープンガーデン参加者宅 他

●活動概要

平成21年にそれまであった大磯町内の2つのオープンガーデンの活動を統合し、大磯町商工会の「おおいそフラワーフェスタ事業」とも連携した活動を、町全体で行ってきた。また、大磯城山公園の北蔵ギャラリーでその様子を紹介する写真展も行っている。

●受賞理由

日本ではまだ「オープンガーデン」という活動に馴染みの薄かった平成13年から最初の活動が開始され、公共の場だけでなく自宅への緑化活動が町全体で浸透した貴重な例です。町の新たな観光の核づくり基本計画にも盛り込まれ、町内の重要な市民活動として位置づけられていることや、大磯城山公園のギャラリーでの活動成果の公開も含め、非常に高い評価を受けました。



オープンガーデンホームの公開



オープンガーデン公開日のにぎわい

都市緑化・自然環境保全に関わる活動部門
奨励賞

相模川・カワラノギクを守る会

- 代表者／会長 長谷川 兌
- 応募タイトル／カワラノギクの保護・保全
- 主な活動場所／県立相模三川公園付近の「カワラノギク圃場」及び相模川流域4箇所圃場

●活動概要

平成9年より相模川流域において、絶滅危惧種カワラノギクの保護活動を実施、現在では相模三川公園付近を含め5箇所圃場があり、メンバーの住む地域を中心に周辺環境の整備、種蒔き、種取り等の活動を行っている。また、相模川全域の連絡会・総会を行うだけでなく、多摩川や鬼怒川の団体と交流会を行っている。

●受賞理由

17年間にわたる活動の中で、単に貴重種を保護するというだけでなく、種蒔きから花見、種取りまで一連の作業を通して行っていることが重要なポイントとして評価されました。また、市民活動サポートセンターや小学校との協働、大手企業からの協賛等によるPR用DVDの作成に取り組むなど、活動の成果を広く周知した実績も、優れた点として高い評価を受けました。



カワラノギク圃場にて



カワラノギク

都市緑化・自然環境保全に関わる活動部門
奨励賞

丹沢化石研究会

- 代表者／門田 真人
- 応募タイトル／丹沢山地の生い立ちを化石や岩石などの地域素材でさぐる
- 主な活動場所／丹沢山地

●活動概要

代表が高校教諭であったころから調査研究をしており、退職後に研究会を平成15年に発足。「丹沢の化石サンゴ礁」などの動画を作成しての教育施設等での放映やホームページでの公開を行っている。調査研究だけでなく、普及啓発にも努めている。代表は丹沢でのオウムガイの化石や熱帯性サンゴの化石を発見し、学術的にも貢献している。

●受賞理由

自然環境保全に関わる活動としては動植物に関するものが多い中で、他に例の少ない「化石」や「岩石」をテーマとした活動は、貴重な活動です。特に理科教育で地学分野を教える機会が少なくなっている中、地学的な地域素材は県の資産としても重要であり、それを教育施設等で広く普及する活動を継続してきたことが高い評価を受けました。



秦野ビジターセンター企画展



秦野ビジターセンター自然教室「石ころ図鑑」

都市緑化・自然環境保全に関する活動部門
奨励賞

厚木市森林づくりボランティア協会

- 代表者／会長 高橋 俊策
- 応募タイトル／里山の保全活動
- 主な活動場所／厚木市七沢「南沢林道」・県立七沢森林公園

●活動概要

平成17年より七沢森林公園や近隣の「南沢林道」の森林整備（除伐、間伐、下刈り、鹿害防止柵づくり等）を継続している。また七沢森林公園の「森のまつり」にも参加し、間伐体験等の普及活動も実施している。

●受賞理由

七沢森林公園やその近隣の「南沢林道」で森林整備を継続して行っており、それらの活動の中でも特に、丹沢やその周辺地域で近年大きな問題となっているシカ対策、ヤマビル対策に問題意識を持って取り組んでいることが貴重な例として高い評価を受けました。



間伐作業の様子



下草刈りの様子

都市緑化・自然環境保全に関する活動部門
奨励賞

遠藤竹炭の会

- 代表者／会長 富田 修
- 応募タイトル／竹林の整備と利活用
- 主な活動場所／藤沢市遠藤「健康の森」

●活動概要

平成13年に「藤沢市遠藤地区まちづくり推進協議会健康の森部会」から発展し、市・民有地の竹林の整備と竹林資源の活用（お祭りの開催、竹炭や竹酢液などの製品販売）を図ってきた。市の「健康の森管理運営協議会」の一員として、周辺地域と一体となった活動も行っている。

●受賞理由

全国的に管理が放棄されている里山が多い中で、「竹林」に特化した活動を約14年間にわたり継続、維持管理で発生した材を商品化し活用している点などが高い評価を受けました。また、PRのために「竹炭人生」という歌を作成する等のユニークな活動も含め、地域への貢献度が高いことも評価されました。



竹割りの作業



整備された竹林

都市緑化・自然環境保全に関わる活動部門 奨励賞

里山をよみがえらせる会

- 代表者／会長 荒井 啓三
- 応募タイトル／「里山をよみがえらせる会」(平塚市土屋) 活動状況
- 主な活動場所／平塚市土屋字寺窪の体験フィールド

●活動概要

産業廃棄物や残土に覆われていた平塚市土屋の里地里山の再生を図るため、平成12年より雑木林や田畑の整備や管理など様々な取組みを継続して行っている。県の里地里山活動協定の認定団体でもあり、市民や大学との交流も深めながら事業を行っている。

●受賞理由

タウン誌で会員を広く募りながらスタートさせて14年間活動を行い、県の「里地里山活動協定認定団体」として認定されるまでに至った継続性が評価されました。また、市民団体単独では活動に限界が出てしまうことが多い中、大学とのパートナーシップを図って取り組んでいることも高い評価を受けました。



市民・大学との交流による「田植え」



親子環境教室「里山編」

都市緑化・自然環境保全に関わる活動部門 奨励賞

お花畑の会

- 代表者／轉 恵子
- 応募タイトル／地域の人々に親しまれる「なかてはらのお花畑」の管理運営
- 主な活動場所／横浜市港北区仲手原の市有地

●活動概要

平成15年より、横浜市港北区仲手原の市有地の有効活用を図るため、荒地の整備から始め花壇としての管理を継続している。花苗の育成においては、播種からの育苗や、さし芽や株分け等にも取り組んでいる。

また、横浜市緑の推進団体連絡協議会港北区連絡会の事業に参加協力し、花苗の育成と提供も行っている。

●受賞理由

工夫を凝らした花苗育成と花壇づくりを10年以上にわたり継続し、年間100種以上の色とりどりの花を咲かせているその様子は、応募書類からも十分に伺えるものでした。また、育成した花苗は、自分たちの花壇だけでなく地域へも提供するなど、横浜市の市街地の中で地域緑化に貢献する功績も高い評価を受けました。



活動場所全景



活動の様子

都市公園施設の利活用部門 優秀賞

特定非営利活動法人 大磯ガイドボランティア協会

- 代表者／会長 山田 喜一
- 応募タイトル／県立大磯城山公園の素晴らしい庭園をガイドすることにより、大磯の素晴らしさをお客様に知っていただく
- 主な活動場所／県立大磯城山公園および大磯町内

●活動概要

平成12年より、大磯城山公園及び歴史的風土が残る大磯町内の歴史ガイドを、自主的及び外部からの依頼に応じて実施してきた。平成25年からは大磯城山公園で旧吉田邸地区の常駐ガイドをスタートさせた。

●受賞理由

公園で活動するボランティアは作業ボランティアが多い中で、維持管理とは違う切り口として、公園の魅力・利用価値を伝えるボランティアは貴重です。地域観光の振興、及び郷土の歴史の普及に貢献しており、さらに活動も豊富で参加者も増えており、今後に期待が持てることから非常に高く評価されました。



吉田邸庭園ガイド



県下ガイド協会会員を集めた訪問ガイド研修（吉田茂銅像前）

都市公園施設の利活用部門 奨励賞

津久井衆甲冑隊

- 代表者／共同代表 半田 忍・原田 久志
- 応募タイトル／地域振興に資する「甲冑武者」活動
- 主な活動場所／県立津久井湖城山公園および周辺地域

●活動概要

平成23年より津久井湖城山公園及び周辺地域において、津久井城の歴史について、手作りの甲冑を着用したイベントや寸劇により紹介。地域の歴史を親しみやすく、わかりやすく普及する活動を目指している。

●受賞理由

戦国時代の山城、津久井城跡を利用した津久井湖城山公園が持つ魅力を十分に発揮させる活動として評価されました。また、県内の都市公園でのこうした活動は少なくユニークであり、甲冑や衣装、劇の演出などに手作り感と温かみが伝わってくることで、リピーターも増えてきていること等も高い評価を得ました。



津久井城こどもの日イベントにて



公園の収穫感謝祭にて

都市公園施設の利活用部門 奨励賞

公益社団法人 かながわデザイン機構

- 代表者／理事長 和田 精二
- 応募タイトル／ユニバーサルカヌー体験会
- 主な活動場所／県立辻堂海浜公園

●活動概要

平成19年より湘南工科大学の研究室がスタートさせた、誰もが楽しく安全に楽しめるカヌー「ユニバーサルカヌー」の開発及び体験試乗会を、辻堂海浜公園を活動場所として実施しているもの。また、体験試乗会の支援ボランティアの組織づくりにも取り組んでいる。

●受賞理由

障がい者用に特化したものでなく、誰もが楽しめるカヌーによって一般の健常者と障がい者が混じって遊べる場として都市公園が活用されており、福祉の理解、促進にもつながる貴重なものであることから、高い評価を受けました。また、体験試乗会を支援する体制づくりとして、市カヌー協会や大学などとのボランティアの広がりによる地域貢献も評価されました。



ユニバーサルカヌー体験会



ボランティアによるサポート

都市公園施設の利活用部門 奨励賞

演劇ユニット ブラックロック

- 代表者／山本 卓
- 応募タイトル／ブラックロックプロデュース
- 主な活動場所／県立津久井湖城山公園

●活動概要

平成20年から、現在の相模原市津久井地区で戦国時代に城主と土豪達から組織された「津久井衆」などの地元の歴史について、演劇を通して伝える活動を、周辺の高校演劇部とも連携しながら、津久井湖城山公園のイベントなどでやっている。

●受賞理由

戦国時代の山城、津久井城跡を利用した津久井湖城山公園が持つ魅力を十分に発揮させる活動として評価されました。県内の都市公園でこうした活動は少なく、特に「演劇」にこだわりを持ち、ショートフィルムを制作中であるなど、独創性の高さと感じられる活動として、高い評価を受けました。



パークセンター前で寸劇を披露



公園の収穫感謝祭にて「津久井衆 ～始まりの場所～」

神奈川県公園協会賞 受賞者

1. 優秀賞 8点

部門名	応募者名	応募タイトル
調査・研究部門	日本大学境川遊水地調査会 (日本大学 造園緑地学研究室)	学生ボランティアによる境川遊水地公園での自然環境・生き物調査
	津久井城山のリスとムササビを守る会	津久井湖城山公園におけるムササビ等の生息状況調査
都市緑化・自然環境 保全に関わる活動部門	特定非営利活動法人 ゆい	湘南海岸 砂草の100人里親プロジェクト
	高津区市民健康の森を育てる会	川崎市高津区の緑の保全に向け「ゆっくり・みんなで・たのしみながら」をモットーに、市民が活動した12年
	川名里山レンジャー隊	川名清水谷戸の保全活動と環境教育の実施
	花を咲かそうボランティアの会	市民が創る緑豊かなふるさとの水辺の風景 ～水仙花壇とニュースポーツ広場～
都市公園施設の 利活用部門	特定非営利活動法人 大磯ガイドボランティア協会	大磯城山公園の素晴らしい庭園をガイドすることにより、大磯の素晴らしさをお客様に知っていただく

2. 奨励賞 10点

部門名	応募者名	応募タイトル
調査・研究部門	東京農業大学 地域環境科学部 造園科学科 ランドスケープエコロジー研究室	川崎市早野梅ヶ谷特別緑地保全地区における里山保全
都市緑化・自然環境 保全に関わる活動部門	相模川・カワラノギクを守る会	カワラノギクの保護・保全
	丹沢化石研究会	丹沢山地の生い立ちを化石や岩石などの地域素材でさぐる
	厚木市森林づくりボランティア協会	里山の保全活動
	遠藤竹炭の会	竹林の整備と利活用
	里山をよみがえらせる会	「里山をよみがえらせる会」(平塚市土屋) 活動状況
都市公園施設の 利活用部門	お花畑の会	地域の人々に親しまれる「なかてはらのお花畑」の管理運営
	津久井衆甲冑隊	地域振興に資する「甲冑武者」活動
	公益社団法人 かながわデザイン機構	ユニバーサルカーヌー体験会
	演劇ユニット ブラックロック	ブラックロックプロデュース

神奈川県公園協会賞 選考委員

委員名	役職名	備考
高 梨 雅 明	東京農業大学 地域環境科学部 客員教授	都市公園分野
池 邊 このみ	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授	都市公園分野
古 瀬 浩 史	帝京科学大学 生命環境学部 教授	自然公園分野
池 守 典 行	(公財) 神奈川県公園協会 理事長	
新 倉 隆	(公財) 神奈川県公園協会 専務理事	

